

# どう生きればいいのか？

人が健康でいるために  
あらゆる観点から研究をし続けた  
丸山先生が  
今あなたに贈るメッセージ！

『十言神呪』 Vol.34からの続きです



丸山アレルギークリニック理事長  
丸山 修寛

幸せになる情報マガジン  
丸ちゃん通信 vol. 35

2023年11月発行

丸山修寛の呟き



## 人と神

キリスト教などの一神教では、人と神とを明確に分けています。「神と人とは別物である。人は神にはなれない。」と言っています。しかし、それは真実ではありません。本当は神（神性の意識）が人を生きているのです。そして、人の中のまだ完全に神性ではない部分（人間意識）を神性の意識にまで引き上げようとしているのです。

十言神呪には、「神、ここに生きたもうなり、神、ここに為したもうたり」という言葉があり、十言神呪では、人と神とを分けていません。また、「人は神になれない」などとは言っていません。冒頭に書いた『天照らす御身神』というように、『人こそが神であり、世を照らすものとして生きるのだ』と言っています。

神性と人の意識は区別できない状態で、人の体の中に混在しています。それはまるで、コーヒーにミルクを入れてかき混ぜたような状態です。あまりに絶妙な具合で溶けあっているため、コーヒーとミルクは、もはや区別できません。神性の意識と人の意識も、人の体の中で絶妙な具合で溶け合っているため、もはや、人の中の神性と人とを厳密に区別することができないのです。さらに、十言神呪では、人は人だけで人生を送って来たんじゃない、神とともに歩んできたんだ（人と神とが同行二人）、と言っています。

人と神が同行する時点では、未だ人は神ではありませんが、十言神呪を続けていくうちに、人は神そのもの、まるごとの神になるのです。これを神人一如といいます。



## 十言神呪～人は光～

自分という人間は本当に存在しているのだろうか。この自分として見えている体は、本当にあるのだろうか。

十言神呪を唱えるうちに、そんな疑問がわいてきた。そしてある時、人の本質は光だということに気づいた。人型の立体スクリーンの中心に光があって、その光の情報が人型の立体スクリーンに映しだされる。光の情報は様々なため、人型の立体スクリーンに映し出される様子も人それぞれで違ってくる。私たちが人間と思っているものはそういったものではないだろうか。

人の形をした中が空っぽの、のっぺらぼうの人形があって、その中に裸電球のような光があって四方八方に光を放射する。その光は色々な情報を持っている為、のっぺらぼうの人形に、口・目・耳・鼻などが映し出されている。光がもつ情報が正しく投影されなかったり、光に欠けができると、人体スクリーンに異常として映る。それが病気ではないろうか。そんなことを想像してしまう。

丸ちゃん通信 VOL. 35

2023年11月15日発行

大好評の  
DVD・音声教材は  
こちらの  
QRコードから



◎発行：丸山 修寛

◎問い合わせ先：info@maruyamanobuhiro.com

◎編集・送付元：株式会社ユニカ

※この案内は株式会社ユニカでダイレクトメール送付希望登録されているお客様へもお送りしています。

※配信停止を希望される方は、上記アドレスまでご連絡をお願いします。

## 人を元気にする量子場エネルギー入り ブラックアイジェル

全く新しい人を元気にするシステムができました。  
カタカムナのミスマルノタマのエネルギーを量子場発生装置を使ってジェルに入っています。

これを塗ると驚くほど変化を感じる方が多くいらっしゃいます。困っている部分に塗るだけで、元気にしてくれます。これを塗って「何か悪いものが出ていて、代わりにいいものが入ってきた」という人もいます。粘膜以外、どこに塗ってもいい魅力の一つです。マッサージするように塗り込みながらご使用ください。

新発売



▲製品詳細

## 今回のクスリ絵 ローブ

コミュニケーションの基本は、自分がいかに上手に自分の気持ちを伝えるかではありません。相手の目を見ながら相手の話を聞けるかが大事です。コミュニケーション力を上げるには、この絵柄をコミュニケーションの相手だと思って、絵柄が伝えたいことを真剣に聞くようにします。言葉で伝えられないかもしれませんか、波動で伝えてくれるので、逃さずキャッチしてください。相手の気持ちがわかりたい、上手に話ができるようになりたい、集団をまとめる力が上げたい人におすすめです。

クスリ絵®とは

眺める・触れるだけで体の不調が消え、運気が上がる「クスリ絵」は、医師・丸山修寛が研究・開発したオリジナルのアート。

神聖幾何学、数字、パワーを持つ形によって描かれた「クスリ絵」は、生命エネルギーの調整や人間が持つ自然治癒力、潜在能力を引き出すのに最適な形や色でつくられたものです。



2024クスリエカレンダー発売中です!



OPEN



古神道という明治以前の神道の真髓は自分が世界を照らす存在になるのだと意識すること。人生は意識の仕方でどうにでも変わる。

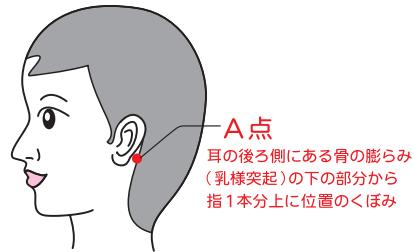
人が人の意識を持ちながら神の意識に至るためには、立体カバラは必要不可欠です。神は言います。「早く自分(神)がいるところまで上がってこい。」と。それを可能にするのが立体カバラです。

## あなたの人生を良きものに創造する

# 奇跡の立体カバラ

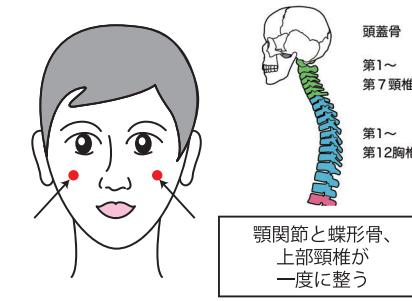
### 立体カバラの基本的な使い方 (6)

耳の付け根のすぐ下にあって耳たぶで隠れている凹みに立体カバラを水平にして軽くあてます。最初は左、次に右の方にも立体カバラを図のように軽くあてます。最初に左からはじめて次に右におこなうという順番は厳守してください。これで首、特に上部頸椎のゆがみが改善されます。



### 立体カバラの基本的な使い方 (8)

口を開けて頬っぺたの部分を指で押すと、凹のある部分があります。そこに立体カバラをあてます。これで蝶形骨の下翼と上部頸椎のゆがみがいつぶんに是正されます。このとき、立体カバラのマルクトを強くあてすぎないようにします。触れるか触れないかの弱い力で立体カバラを両頬っぺたの凹の部分に数分あてます。



体にあたたかさを感じるかもしれません。そのあと、自分が叶えたい願望を立体カバラの中心の球(ティファレド)に向かって言います。それで願いや希望が叶いやすくなります。

メタトロン立方体という神性幾何学図の中心に立体カバラを置く場合も同じようにします。まず椅子などに座り、立体カバラの上方を両手でしっかりと持ちます。そしてメタトロン立方体の図の中心に立体カバラの下端のマルクトをあてます。軽く目を閉じてしばらくそのままでいます。

こうすることによってメタトロン立方体のもつエネルギーが自分の中に入ります。

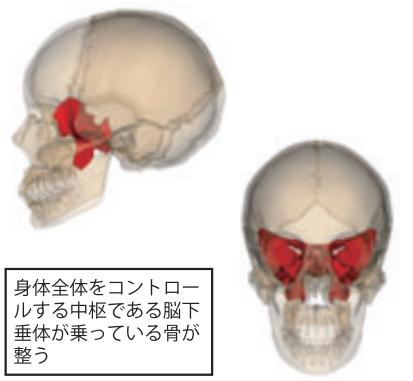


### 立体カバラの基本的な使い方 (7)

こめかみは蝶形骨という正面から見ると蝶のように見える骨の一部(外翼)です。蝶形骨の中心にはトルコ鞍という骨でできた凹みがあります。この凹みには全細胞の司令塔である脳下垂体が入っています。

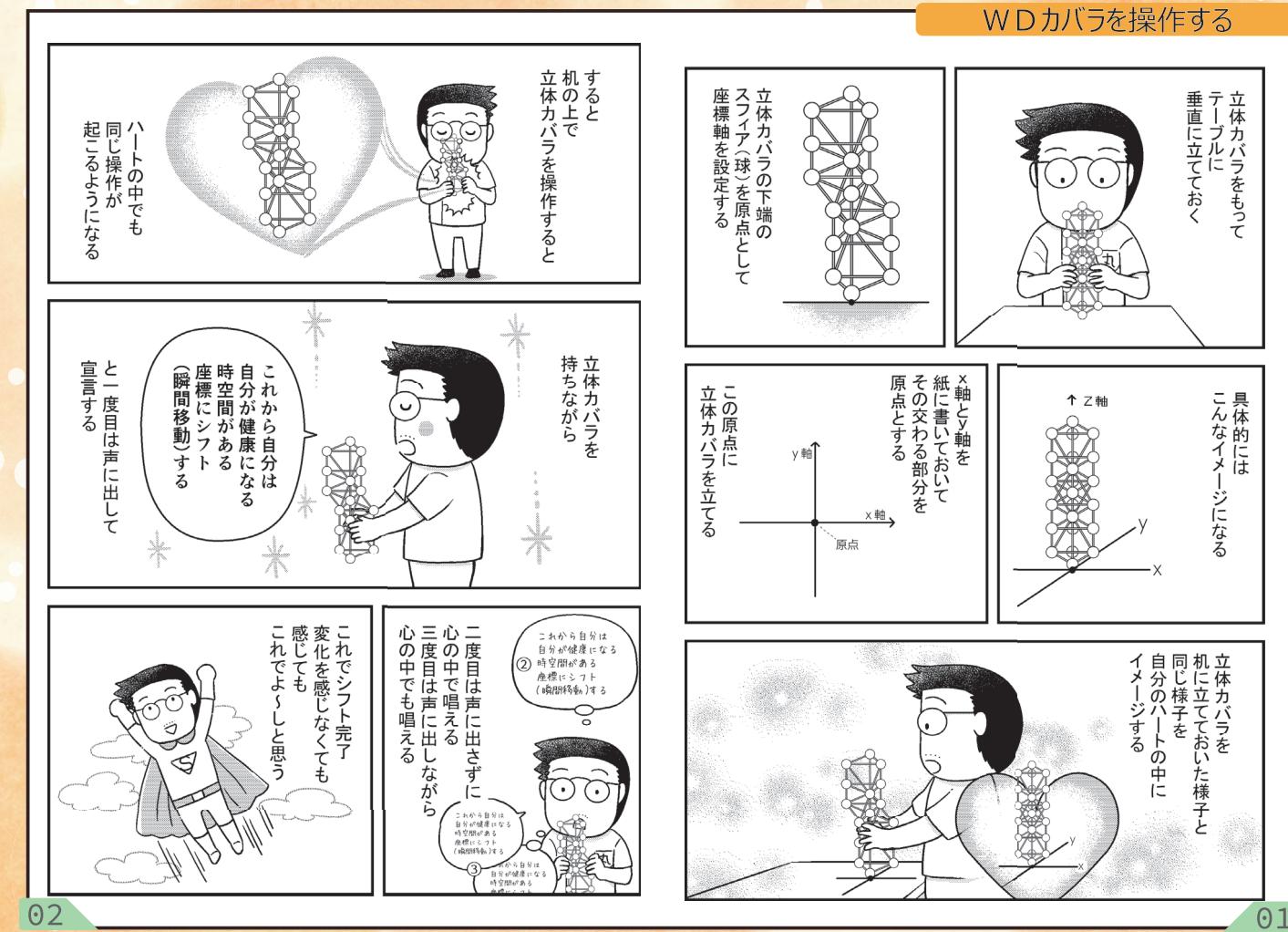
凹みが歪むと、その中に収まっている脳下垂体が圧迫され、十分な指令を出せなくなります。このような場合、こめかみに立体カバラをあてると蝶形骨のゆがみが改善します。

その結果、脳下垂体の機能が回復しやすくなります。立体カバラをこめかみにあてる場合は触れる程度にそっとあてます。最初に左からはじめて次に行うという順番は厳守してください。



## 連載 第8回

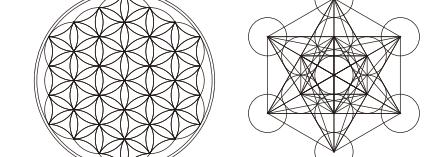
### 第三の目を使って



### 立体カバラの基本的な使い方 (9)

立体カバラの先端を鼻と口の間の鼻唇溝、喉、胸の中央、みぞおち、へそとみぞおちの間、へそ、恥骨などに置きます。これら以外にも自分の体の気になった箇所にあてていきます。

また、背骨の両脇をゆっくりと指圧するように立体カバラをあてていくと、身体全体がほぐれて気持ちがよくなつて寝てしまうほどです。



### 立体カバラの基本的な使い方 (10)

神聖幾何学図からはそのままである程度は神聖のエネルギーが出ています。しかし、神聖幾何学図がもつていてるエネルギーをより広い範囲の空間にまで広げるためには立体カバラを使います。

神聖幾何学図の中心に垂直に立体カバラを立てると、神聖幾何学図が本来持っているエネルギーが外側に放出されます。例えばフラワー・オブ・ライフという神聖幾何学図の中心に立体カバラを垂直にあてます。人によっては自分の周囲に風が吹くのを感じたり、

